

# 東京東江戸川ロータリークラブ

国際ロータリー第2580地区

TOKYO HIGASHI-EDOGAWA ROTARY CLUB

インスピレーションになろう  
BE THE INSPIRATION

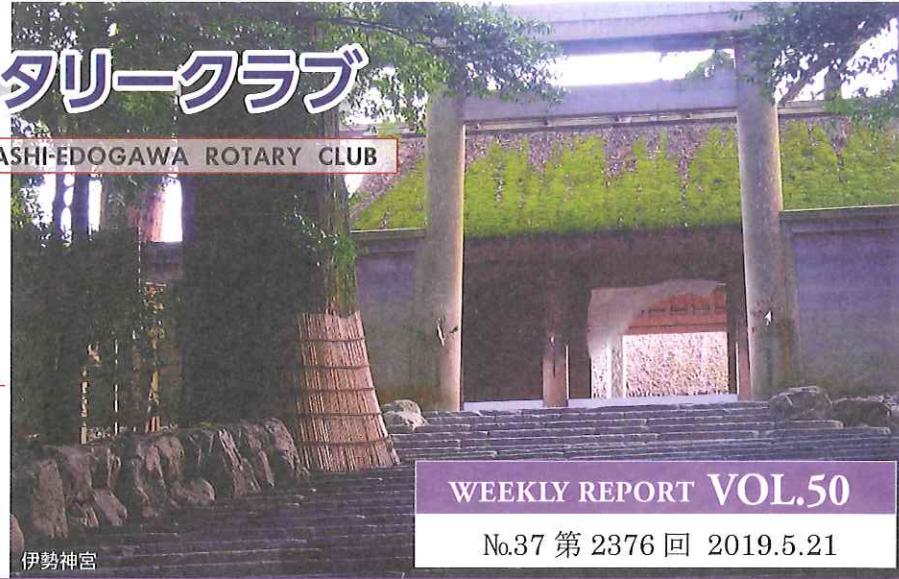
RI会長 バリー・ラシン



「笑顔こそ奉仕の原点」  
輝こう★誇りをもって!



クラブ会長 岡村 利之



WEEKLY REPORT VOL.50

No.37 第 2376 回 2019.5.21

- ◆例会日◆ 毎週火曜日 12:30~13:30  
◆例会場◆ タワーホール船堀 〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 TEL 03(5676)5511  
◆創立◆ 1969年9月18日(日本で951番目)

## 本日の卓話

令和元年5月21日

(紹介者: プログラム委員会)

### 「青少年交換プログラムについて」

地区副幹事  
次年度地区青少年交換委員長  
東京東久留米RC

藤本誠一氏

## 次回の卓話

令和元年5月28日

(紹介者: プログラム委員会)

### 「私と青少年奉仕」

地区学友委員長・地区青少年奉仕副委員長  
次年度地区青少年奉仕委員長  
東京池袋西RC

平井憲太郎氏

## 《5月14日例会報告》

以上5名

### 点鐘

ロータリーソング「我等の生業」

「BIRTH DAY SONG」



会員誕生日祝い 鈴木君 濑下君

### 来賓紹介

#### ◎ゲスト 4名

古波津大地氏 (ゲストスピーカー)

武田祐市郎氏 (ゲストスピーカー)

松村正一氏

(東京東RC・安田学園IAC発足式副実行委員長)

バヤルサイハン・エルデネトヤさん(米山奨学生)

#### ◎ビジター 1名

高橋桂司氏 (東京江戸川RC)



結婚記念日祝い 鹿野君 茂手木君



ご結婚記念日祝い 鈴木君 平田君

会長 ◆ 岡村 利之  
副会長 ◆ 一樹 靖人  
幹事 ◆ 猪野 弘行

会報・雑誌委員会 ◆ 唐澤 正樹・石橋 正男・田中 保夫  
事務局 ◆ 〒133-0056 江戸川区南小岩6-31-8 福島ビル2F AのB室  
TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774  
E-mail:e-edogawa@msc.biglobe.ne.jp http://e-edogawa-rc.com

## 出席報告

| 会員数 | 出席  | 出席率    | 前々回訂正率 |
|-----|-----|--------|--------|
| 30名 | 25名 | 92.59% | 100%   |

## 会長報告

○原町中央RC創立25周年記念式典参加報告。感謝状を頂戴しました。



○東京東RC・松村正一氏より、安田学園インター アクトクラブ発足式のご案内。



## 幹事報告

○5月12日(日)AM10:00～JR小岩駅南口にて、春の交通安全週間広報活動(風船配り)を実施しました。

○本日AM10:30～タワーホール船堀2階「蓬莱の間 前室」にて、次年度社会奉仕委員会を開催しました。

○本日AM11:00～タワーホール船堀2階「蓬莱の間 前室」にて、第6回未来プロジェクト委員会を開催しました。

○本日例会終了後PM2:10～江戸川区清掃工場にて、環境保全委員会主催工場見学会開催。

○本日PM2:30～ホテルグランドパレスにて、ガバナー補佐エレクト研修開催。嶋村次年度東分区ガ

バナー補佐出席。

○本日PM7:00～一之江「しゃぶテキ亭」にて、米山獎学生・エラさん歓迎会開催。

○5月15日(水)AM8:00～集合、茨城ゴルフ俱楽部にて、第2回岡村会長杯ゴルフコンペ開催。

○5月15日(木)PM2:00～フォレストイン昭和館にて、東京福生RC創立50周年記念式典・祝賀会開催。嶋村地区RYLA委員長出席。

○5月16日(木)PM3:00～ガバナー事務所地下会議室にて、地区RLI委員会開催。嶋村地区RLI委員出席。

○5月18日(土)PM3:00～主婦会館プラザエフ7階「カトレア」にて、地区RYLAセミナー報告交流会開催。岡村会長、永井青少年奉仕委員長、嶋村地区RYLA委員長出席。

○5月19日(日)PM1:30～タワーホール船堀2階「瑞雲」にて、地区第1回「学友の集い」開催。岡村会長はじめ当クラブからは6名出席します。

○5月20日(月)PM10:00～ホテルグランドパレスにて、RLIパートⅢ開催。岡村会長、嶋村地区RLI委員出席。

## 例会臨時変更のお知らせ

5月22日(水)

・東京豊島東RC → 5/29(水)に例会変更

5月23日(木)

・東京江戸川中央RC → 夜間例会(映画例会)

・東京池袋RC

→ 5/21(火)移動例会(5クラブ合同例会)

5月24日(金)

・東京板橋セントラルRC

→ 移動例会(5クラブ合同例会)

5月27日(月)

・東京城東RC → 特別休会

## 委員会報告

＜環境保全委員会＞

・本日例会後の清掃工場見学会について

＜次年度幹事＞

・次年度活動計画書提出のお願い

## 《卓話》

5月14日の卓話は、メンバー・地区RYLA委員長嶋村文男君、RI第2580地区RYLA学友古波津大地氏、武田祐市郎氏の「第1回RYLAセミナー報告」でした。



**RYLAの歴史①**

1) はじめ  
1959年 オーストリアのクイーンズランド州の自治権獲得100年を祝うイベントでアレクサンドリア王女と同年代の青年達が参加した。プリスベンRCが全豪から集まってきた青年リーダーたちのホストを努めました。これらの青年達の資質の良さに感心したロータリアンたちはこの催しを毎年行うことを決め、1週間、文化・社会などの教育プログラムを実施しました。  
こうして RYLAはオーストラリアに誕生しました。

2) その後  
1971年 国際ロータリーによって正式に採用され、アメリカでは組織キャンプとして実施されています。

**RYLA**



|        |         |
|--------|---------|
| 本日入金…¥ | 42,000  |
| 今期累計…¥ | 652,500 |
| 基金合計…¥ | 795,255 |

松村氏(東京東)

…岡村会長にご挨拶に参りました。安田学園 I A C 発足式のご案内です。

高橋氏(東京江戸川)

…お世話になります。よろしくお願ひ致します。

### ニコニコ情報

①本日は「第1回 RYLAセミナー報告」  
メンバー・地区RYLA委員長 岩村文男君  
R I 第2580地区RYLA学友  
古波津大地氏 武田祐市郎氏  
楽しみにしております！

村山君、塚田君、鈴木君、猪野君、平田君、岡村君、田中君、一樹君、岩倉君、永井君、橋本君、瀬下君  
…①

茂手木君…ピンクのバラがついていました。

嶋村君…3月のRYLAセミナーに報告を推薦いた  
だいた2人のRYLA学友と行います。

東京江戸川RC 高橋様ようこそ！

城戸君…地区RYLA委員長嶋村さん、楽しみにして  
おります。

安池君…岡村会長、猪野幹事、嶋村さん、先日は福  
島までの楽しい時間をありがとうございました。田中さん、本日はよろしくお願ひ  
致します。

計 18名

### 《ニュージーランドのロータリークラブが モンゴルの出産基準を革新》

(前回4月16日掲載の続き)

2013年のモンゴル訪問で完了できなかった活動  
のため、第3段階では、さらなる出産教育とプロが  
翻訳したマニュアルを届けるため、第2派遣団を送  
りました。

チームはまた、このプロジェクトをさらに拡大、  
救急治療技術に関する新しい研修モジュールを追加  
しました。実際にモンゴルのニーズがどういうもの  
なのかというと、最前線で治療にあたるモンゴルの  
産婦人科ヘルスケアワーカーの大多数は、基本的な  
人工呼吸の研修すら受けたことがない状況であると  
デニソンさんは話します。

このプロジェクトの第3段階として、デニソンさ  
んはニュージーランドのティマル・ロータリークラブ  
のジュリードッククリルさん、オーストラリア・ビ  
クトリア州ギズボーン・ロータリークラブのサマン  
サ・ターナーさん、助産師のベブ・テ・ファイアさん  
とともに、新しく作成した出産マニュアルをもって  
モンゴルに渡りました。

モンゴルの第3450地区のロータリークラブから  
の支援もあり、彼らはたった3週間で、出産研修3  
日間コースや1日の救急技能クリニックを通して、  
300名以上の保健従事者を研修することができま  
した。

「私たちは、講習を受けに来た医師や、技術更新  
が必要だという、ベテラン産科医たちの数にちょっと  
と圧倒されました。彼らはマニュアルに非常に感激  
していました」とデニソンさんは振り返ります。

## ・モンゴル中に広がる研修

デニソンさんは、このプロジェクトの急速な拡大と、その持続可能性、またプロジェクトでの研修で保健従事者にもたらすことができたインパクトに誇りを感じています。例えば、ウランバートル大学の産科主任講師は、研修の終了直後、教え子の500名の学生たちに、身につけた新しい知識と実技を伝えています。

「このことからも、このプロジェクトの影響がどれほど広く、急速に、広がりつつあるかが具体的にご想像いただけるでしょう。つたの葉が伸びていくように、あらゆる方向に広がっているのです。全体に与える影響ほどは測りきれません。雪だるま式にいろんな効果が目の前で繰り広げられるようです」とデニソンさん。

モンゴルの保健省は、プロジェクトで作られた出産マニュアルを推奨し、国内の母子医療のための標準研修カリキュラムとしてこれを採用しました。同省はまた、モンゴルのすべての妊婦が出産に関する教育を受けることを義務化しました。また、国が実施する新しい児童福祉資金援助プログラムへ申請するために、妊婦は少なくとも3つの出産に関するクラスを受講しなければなりません。

デニスさんは、ロータリアンのチームが実施した実践的な研修がプロジェクトの成功につながったと話します。「チームは、インタラクティブ・参加型・実践的な研修を提供しました。モンゴルの人たちは、このような学習スタイルにまったく触れたことがありませんでした。『話を聞く』形式の研修に慣れていたのです」

こうして行われたプロジェクト全体のインパクトには「度肝を抜かされた」と言います。

2013年から2015年までの間に、モンゴルの乳幼児の死亡率は66%低下し、産婦の死亡率は70%以上も減少したとデニソンさんは言います。

「それを聞いて、暖かい感動を覚えました。私たちは仕事を終えるとき、何か社会に貢献したと満足してその場所を去りたい。そのためには私たちはロータリークラブに入ったのです」

第9980地区のロータリーチームは、2018年に最後の研修を計画しています。人工呼吸に重点を置いた救急産婦人科医学と救急技術の研修を確立し、さらに多くの人命を救うのが目的です。

「すでに、本当に大きな違いが表れています。統

計の数字がすべてを物語っています」デニソンさんは誇らしげです。

(R I ホームページより抜粋)

## 『倫理的ジレンマ：あなたならどうする？

### （資金の使い道）

日本では現在、海外労働者の受入拡大を2019年4月に控え、自治体がさまざまな状況を想定した準備を進めています。また、世界で深刻化している難民問題を受け、日本での受け入れに関する議論も盛んになっています。どのような状況になったとしても、地域社会で大きな動きがあった場合は、地元ロータリークラブの出番となることが考えられます。

今回の「倫理的ジレンマ」では、このような世界の情勢変化の余波を受けたクラブでのジレンマを取り上げました。

「Aさんのクラブでは、海外文化交流を通じた平和推進のための奨学金を地元高校生に提供するため、募金活動を行いました。Aさんが担当者となり、会員みんなで募金しました。

資金が集まり、正式に地元高校で公表する段階となったとき、地元の移民支援団体から連絡が入りました。それは、紛争から逃れるため、家族みんなで日本にやってきた学生の支援に協力してほしいというものでした。その学生は地元高校に編入しましたが、まともな学生生活を送るための資金援助が必要でした。

そこで、クラブ理事会で話し合いが行われ、その結果、意見の相違はあるものの、この援助が平和に関連し、深刻なニーズに応えるもので、地元高校生の支援であることに変わりはないという理由から、募金で得た資金をこの学生の支援に充てることを決定しました。

しかし一部の会員は、「海外文化交流を通じた平和推進」という当初の目的とは異なる資金の使われ方に疑問を抱いています。また、これでは当初の目的に共感して募金してくれた人たちの期待を裏切る可能性があると感じています。

募金活動を担当したAさんは、苦情を言う人はいないだろうと思いつつ、資金の高い透明性を保つことが必要だと感じています。また、今後の募金活動で不測の事態に対応するために何ができるかと思案しています。このようなとき、あなたならどうしますか？」（次回につづく）

(ロータリーボイスより抜粋)